

安全作業手順書【コンクリート剝落対策工】

見積もり基準をした危険性の評価				危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
見積もり基準	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)	危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
可能性(A) ○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○ ○ (極めて小さい)	○ △ (かなり小さい)	○ × (中程度)	× ×	極めて重大	5	即座に対策が必要
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△ ○ (かなり小さい)	△ △ (中程度)	△ × (かなり大きい)	× △、△ ×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	× ○ (中程度)	× △ (かなり大きい)	× × (極めて重大)	× ○、△ ○、△ △	中程度	3	何らかの対策が必要
				○ ○、△ ○	かなり小さい	2	視察点では必要なし <small>(発生を抑制)</small>
				○ ○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT)
機器工具	ブレーカー、チップャー、スコップ、ジョレン、サンダー、刷毛 ハンマードリル、発電機、小型移動式クレーン、清掃用具一式	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ、保護メガネ、保護マスク、皮手袋、軍手

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント (～なので～になる)			リスクの見積り			安全対策（危険度2以下へ） (私達はこうする)			リスクの再見積り						
			(A)	(B)	リスク	(A)	(B)	リスク	(A)	(B)	リスク							
準備工	作業確認 作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割（運転手、助手）を決める 作業場所及び車線を確認する 使用機械、工具等の点検を行う 交通規制状況を確認する ケーブル近接協議の内容を確認する 小型移動式クレーン及び高所作業車の点検を行う しらすだーの動作確認及び点検を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 作業前に 必ず当日の規制簿を使用して 試運転を伴う場合は協議日を確認して 手順書に則り 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう / 作業中に機械が故障し、思わぬケガをする / 協議承認日より前に作業を行ってしまう	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する / 作業前に必ず道具、工具、機械類の点検を行う 刃の可動部、連結部はレンチ等の工具にて緩みがないことを必ず確認し、始動確認を行う。 / 作業日と協議日を照合し、確認を行う	○	○	1	○	△	2	○	○	1		
			小型移動式クレーン及び高所作業車作業手順書に則る			○	○	1	電池切れで緊急時、逃げるのが遅れる			△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1



車両確認		25.車両回送手順書に則る	○	○	1
作業車両準備					
作業車両点検					
出発準備					
出発					
規制内進入					
車両移動					
停止					
逃走防止					

使用機器等	車両から必要機械を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指が挟まれて気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする 発電機等を小型移動式クレーンで荷降しする際に一般車両に接触する	△	△	3	無理な搬出はせず、慎重に乗降する 通行方向の反対側に旋回させる	○	△	2	○	○	1			
カッター工	補修予定ラインを引く ラインに沿ってハンドカッターで壁高欄面にカッターを入れる	チョーク、ラッカーなどを使用して 壁高欄内の鉄筋を傷つけないように注意	壁高欄内の鉄筋に注意 /	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			
はつり工	エアピック等で壁高欄をはつり取る はつり部分を綺麗に清掃し、出来形検測を行う サンダーを使用しコンクリート面及び鉄筋のケレンを行う	車線側では必ず飛散防止ネットを使用して コンクリートの折り返しに注意して 保護具の着用を必ず行い 橋梁下方への落下物に注意して 監視員を下場に配置して はつりガラを残すことなく 保護具を着用して	エアホースが外れ走行車両に接触する はつりながら一般車両に飛散する ブレーカーで足、手を突き 飛散防止ネットが強風により倒れ接触を起こす 粉塵が目、肺に入り病気になる 素手で作業を行い、身体を損傷する	○	×	3	使用前後に緩みがないか確認する 飛散防止ネットを設置してからはつる 必ず安全くつを着用しガラかきはノミのそばに手を置きさない ガードレール、車両にロープ等で固定し 飛散防止ワイヤーを設置する 保護メガネ、マスクの安全着用を行う	○	○	1	○	○	1	○	○	1
鉄筋防錆処理	ケレンした鉄筋表面の錆を落とし防錆処理を行う	塗布面に均一に	防錆材が上方より飛散し一般車、一般者に飛散する	△	△	3	シート等で養生を行う	○	○	1						
断面修復工	欠損断面をコテ等を使用し断面修復材にて埋め戻し復旧する	道具や材料の落下に十分注意して	上方より道具や材料をを落下させる	○	×	3	必ず足元、欄等の養生を行う。	○	○	1						
仕上げ	発生材や道具を片付ける 清掃道具で場内清掃を行う 場内状況及び清掃状況を確認する	車線側、他の作業員等十分周囲に注意して 車線側への飛散に十分気を付けて 使用道具や、検測道具など忘れ物の無いように	片付け作業やクレーン操作作業が重複し 作業員同士や、クレーンとの接触を起こす 掃き掃除やブロー使用の際、走行車に気づかず 清掃物が飛散し、接触する /	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、 全体の動きを指示しながら片付けを行う 職長は必ず場内全体を監視し、 警笛等を用いて合図をしながら清掃する	○	○	1	○	○	1	/	/	/
現場離脱		25.車両回送手順書に則る														
帰着・駐車 後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/			

1人作業	原則1人作業はしない。やむを得ず1人作業をする場合は現地でKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもしもの時の連絡体制を事前に構築しておく。												
特記	パワーゲートを使用した荷台積み下ろし パワーゲートを使い荷台にバルーン等を積み下ろし作業をする時は、積載物の落下またはゲート昇降による手の挟まれ、スライドバーの延伸による足挟まれに注意すること 台車を使用する場合 台車を使い小運搬を行う時は、台車の逃走による車両等への接触に注意すること	①パワーゲートを昇降させるときは必ず声を掛け合図を行い、手・足が挟まれないことを確認し安全を確保してから昇降させる。 ②バルーン等のタイヤロックを外す時は、必ず声を掛け合図を行い、保持を確認して安全を確保してからロックを外すこと	声掛け合図を怠り、積載物またはゲートに手足をはさまれて怪我をする 台車から離れた瞬間に台車が逃走し走行車両と接触する	○	×	3	パワーゲートを使用する際は必ず2人以上で作業をし、ゲートの昇降をする場合は声を掛け合い挟まれないように安全を確保してから昇降させる。 使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1	○	○	1